

投資事業評価調書（新規）

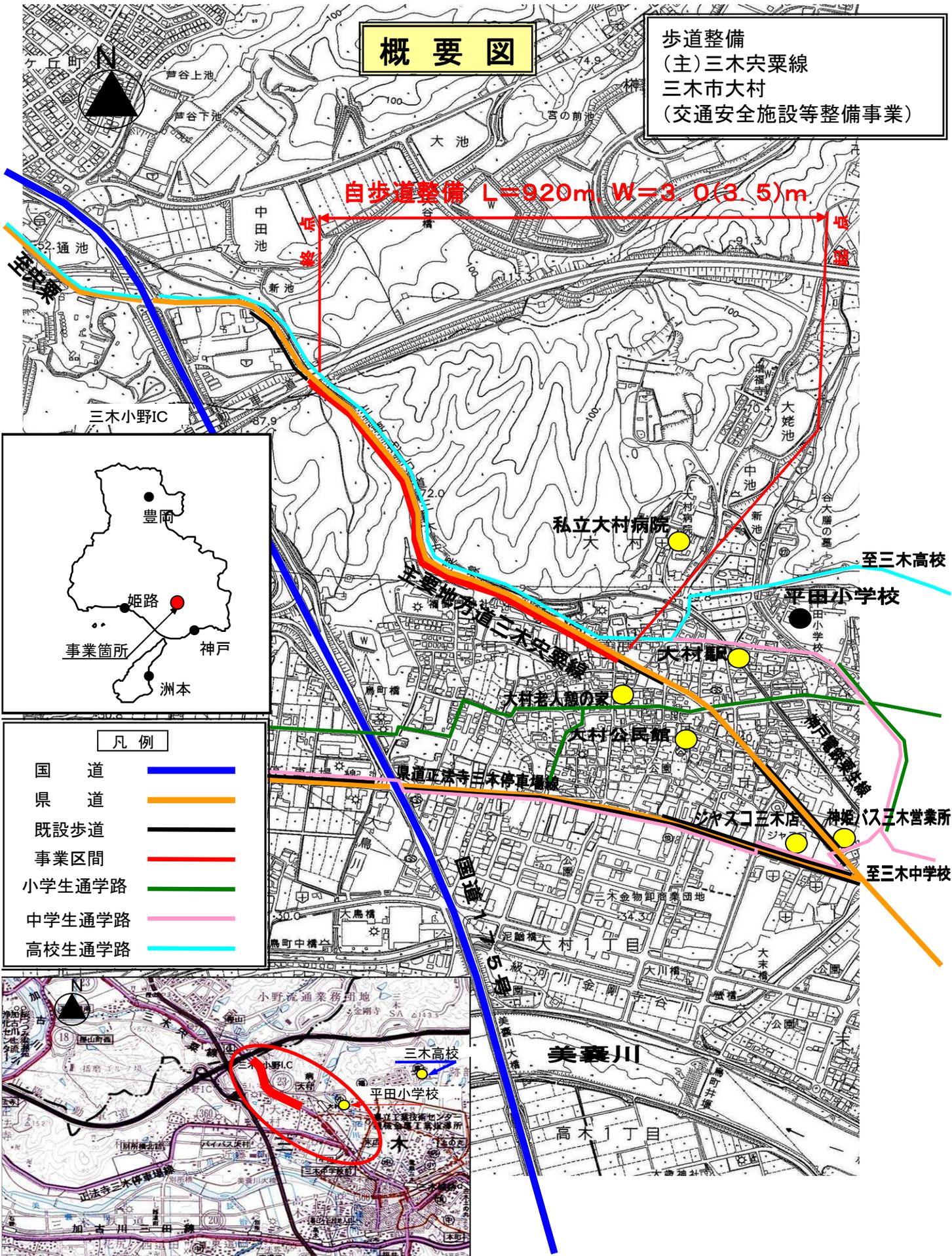
部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 杠 典英 (交通施設係長 鎗水 正和)	内線	4 3 8 9 ( 4 3 9 9 )
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 4.8 億円
		交通安全施設等整備事業 (主)三木穴栗線	三木市大村	内用地補償費	約 2.0 億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
三木市 大村 地内				平成 22 年度	平成 26 年度
事業目的			事業内容		
<p>当該区間、高校生の通学路となっているが、自転車歩行者道が整備されていないため、大型車等が通行する際に危険な状況となっている。 そこで、自転車歩行者道を整備することにより、通学路の安全・安心を確保する。</p>			<p>歩道整備（片側） L = 920m W = 3.0m (3.5m)  現況 歩道無し  (負担割合 国 1/2 県 1/2)</p>		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性		<p>[ 周辺状況 ] ・当該区間は、小野市との市境に位置し、付近には三木高等学校、平田小学校、大村病院、神戸電鉄大村駅等が立地している。 ・小野市から三木高校への通学路（全て自転車）となっているが、当該区間には自転車歩行者道がなく、大型車等が通行する際に危険な状況となっている。</p> <p>[ 交通状況 ] ・自動車交通量が多く、自転車交通量も比較的多い。大型車混入率(9.0%)（自動車12,315台/日、歩行者15人/12hr、自転車152台/12hr） ・当該区間付近には神姫バス三木営業所があり、1日当り102便運行している。</p> <p>[ 交通事故 ] ・過去 5 年間に全事故件数は 4 1 件発生。 ・過去 5 年間に自転車、歩行者の交通事故が 2 件発生している。</p>			
(2)有効性・効率性		<p>[ 効果 ] ・通学路として利用している高校生の安全を確保できる。</p> <p>[ 事業執行環境 ] ・住民参加による交通安全総点検実施し（H19.10.2実施）歩道の必要性を求められている。 ・事業計画について、地元自治会に意見聴取し合意形成を図っており、円滑な事業執行環境が整っている。</p>			
(3)環境適合性		<p>・歩道部の透水性舗装により、雨水を地下に還元するとともに道路交通環境の改善が図れる。</p>			
(4)優先性		<p>・交通量が多く、通学生徒は危険な状況にあり、早期の対策が必要である。 ・地元からの要望は強い。</p>			

# 概要図

歩道整備  
 (主)三木中央線  
 三木市大村  
 (交通安全施設等整備事業)

自歩道整備 L=920m, W=3.0(3.5)m

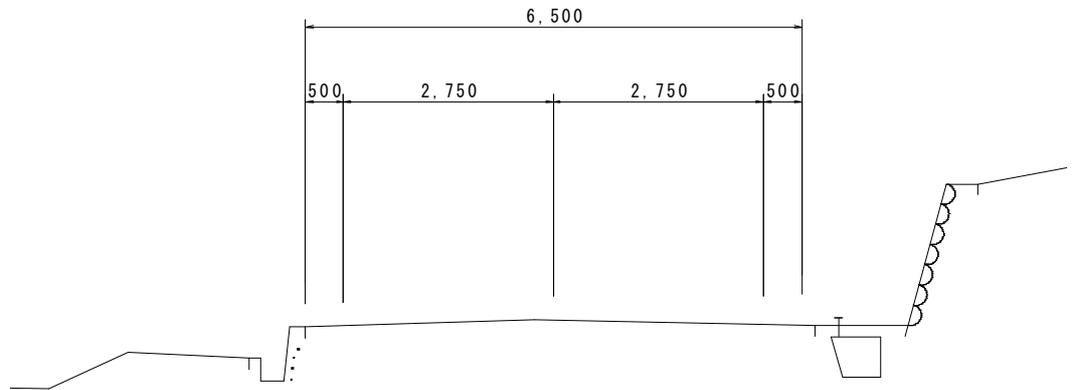


凡例	
国道	■ (Blue line)
県道	■ (Orange line)
既設歩道	■ (Black line)
事業区間	■ (Red line)
小学生通学路	■ (Green line)
中学生通学路	■ (Pink line)
高校生通学路	■ (Cyan line)

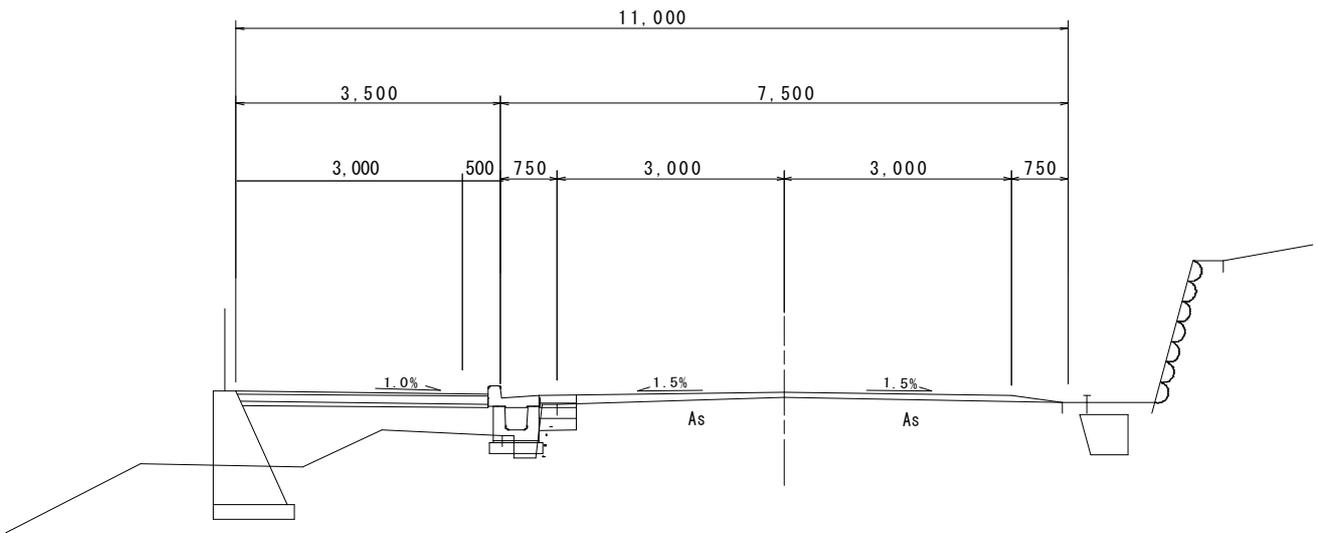


# 標準断面図

整備前



整備後



# 事業スケジュール

内容	工 程					
	H22	H23	H24	H25	H26	H27
測試						
用買						
工事						

## 通学状況写真



往路、下り勾配をスピードを出して走行している。車道側にはみ出すことも多い



# 通学状況写真



帰路、縦断がきついため、自転車を押し  
ている



帰路、縦断がきついため、立ちこぎでふら  
ふらしながら自転車をこいでいる